

□議員名：吉永美子

1 地方創生戦略について

論点	地方版総合戦略策定に当たり、より効果的なものとするための留意点について聞く。
回答	4月に市総合戦略推進本部を立ち上げ、庁内での検討を行う。また、策定過程においては、市民代表のほか産業界、行政機関、教育機関、金融関係、労働団体、そしてメディアの方など、広く参画していただくこととされているので、行政のみならず地域の幅広い多種多様な視点からの意見をいただき、内容に反映していく。

論点	山口東京理科大学を市立にすることによって、市のまちづくりにどのように効果を発揮することを想定しているか。
回答	まず、産学官連携による産業の活性化及び新産業の創出を上げることができると思う。次に、市民へ高度な高等教育に触れる機会を増やすことができる。3つ目に周辺地域の活性化である。4つ目として、地元志向の助成である。定住人口の増加につながると確信する。

論点	山口東京理科大学を卒業された方々が本市に残るため、奨学金の返還免除など、支援を県に要望してはどうか。
回答	国においては、総務省、文部科学省を含め、自民党内閣、全面的な協力である。議員の提言一つ一つについて更に具体化していきたいが、それは平成27年度の後半だというふうに考えている。副知事からは、県として協力させてもらうという申し出があった。

2 東日本大震災被災地への支援について

論点	いまだ約23万人の方々が避難を余儀なくされている。被災地への支援の現状、そして今後の予定について聞く。
回答	平成24年10月から建築士1名を宮城県山元町に派遣しており、派遣期間は5年間を予定している。今後の支援については、現在のところ、人的支援についての要請はないので、派遣の予定はないが、要請があれば、またその時点で対応を検討していきたい。

論点	東日本大震災に関する支援について、もっと市民にお知らせをしていく体制づくりを進められないか。
回答	指摘の点は検討させていただく。

3 新火葬場建設について

論点	新火葬場の基本計画について、市民からどのような意見が出たのか。そして、出された意見を基本計画にどのように反映するのかを聞く。
回答	必要火葬炉数など、特定した一つの市販書籍に基づき起案や算出をしていることの原因が不明瞭であるとの指摘や、火葬場を火葬以外に他の目的で利用することができるのかとの質問、また、動物炉の設置の要望が出ている。十分、検討はしたが、計画案への反映、または変更までには至っていない。

論点	新火葬場には胞衣炉が設置されないが、今後も、誰が火葬しても、現在のような遺族に対して思いやりのある火葬ができるのか。
回答	最新の火葬炉設備では、きめ細かな燃焼コントロールが行えるほか、火力だけでなく火炎特性を変えることもでき、既設火葬炉設備以上の性能を有していることから、胞衣炉を設置しなくても、死産児の遺骨が残るということを確認している。

論点	新火葬場の基本計画には、動物炉を設置することについて『民営圧迫になる』と記載されているが、なぜそのように断言できるのか。
回答	現在、特に問題もなく、民間施設等でペットの火葬が行われている。このような状況の中で、あえて市がペットの火葬を行うべき事業であるとは考えていない。断言できるかと言われると、言葉足らずの部分があったと思うが、このことを民営圧迫という言葉で表現した。

論点	火葬以外に斎場を使用することは考えていないとのことだが、より市民に親しまれるものを目指すべきではないか。
回答	基本計画案には「火葬場が持つ従来のイメージの払拭に心がけ」という文言があるが、これは議員が言われる、『より市民に親しまれるもの』という意味合いを含めたものである。

4 総合防災訓練について

論点	平成27年度は市民1,000人の参加を予定しているとのことだが、市民が参加しやすいようにするための工夫について聞く。
回答	県の防災ヘリコプターを活用するなど、新しい訓練内容も検討している。これまで行ってきた総合防災訓練の反省点などを踏まえ、市各関係機関と市民との連携がより緊密となり、非常時においても適切な行動がとれるよう、有意義かつ効果的な訓練を実施したい。

論点	防災士育成事業については、育成した後に活用することが大切であるが、育成した防災士を総合防災訓練にどう活用するのか。
回答	市や関係機関と防災士の皆さんとが共同して防災減災に取り組むという観点から、意見交換会を今年5月頃を目途に開催したいと考えている。そこで、総合防災訓練の参加の願いはもちろん、御意見等もお伺いすることなどを予定している。

5 プレミアム（上乘せ）付き商品券について

論点	経済効果の高い内容が盛り込まれるように、利用者の使い勝手も含めて両商工会議所と徹底して検討されることを望むが、どのような効果を期待しているのかを聞く。
回答	この商品券は、市内の事業所、商店等で御利用いただくため、地元消費拡大につながり、本市経済の活性化や市内の小売業、サービス業の活性化に資するものと期待をしている。

論点	商品券発行の効果を最大限にするための取り組みについて聞く。
回答	効果を最大限にするためには、商品券の発行に際し、市民にまず十分なPRが必要であると考えている。そして、実施するからには多くの皆さんに購入、利用していただきたいと思っている。また、発行の効果は一過性には終わらせてはいけないものとも考えている。

[トップページ](#) > [組織で探す](#) > [防災危機管理課](#) > [東日本大震災に関する支援・対応状況](#)

東日本大震災に関する支援・対応状況

通常ページへ戻る 掲載日:2014年6月15日更新

防府市では、東日本大震災の被害に対する支援を実施するため、防府市災害支援対策会議を設置しました。

防府市での支援内容、対応状況については下記のとおりです。

支援について	対応について
<ul style="list-style-type: none"> 被災者相談窓口について 義援金の受付について 支援物資の受付について 募金箱の設置について ボランティアについて その他・注意事項 	<ul style="list-style-type: none"> 発生日時等 防府市災害支援対策会議について 防府市災害支援対策連絡会議について 職員派遣について 義援金・募金の受付状況 支援物資の搬出状況

支援について

被災者相談窓口について

防府市では、被災された方の受入や支援についての相談窓口を設置しています。

被災者相談窓口

窓口	電話番号	所在地
市政なんでも相談課	0835-25-2194	山口県防府市寿町7番1号 (防府市役所1号館1階)

被災者受入支援制度等一覧

被災者受入支援制度等の一覧は[こちらをご覧ください](#) [PDFファイル/3.79MB] (別ウインドウが開きます)

義援金の受付について

義援金を受け付けています。

受付窓口

市社会福祉課、各公民館、各福祉センター

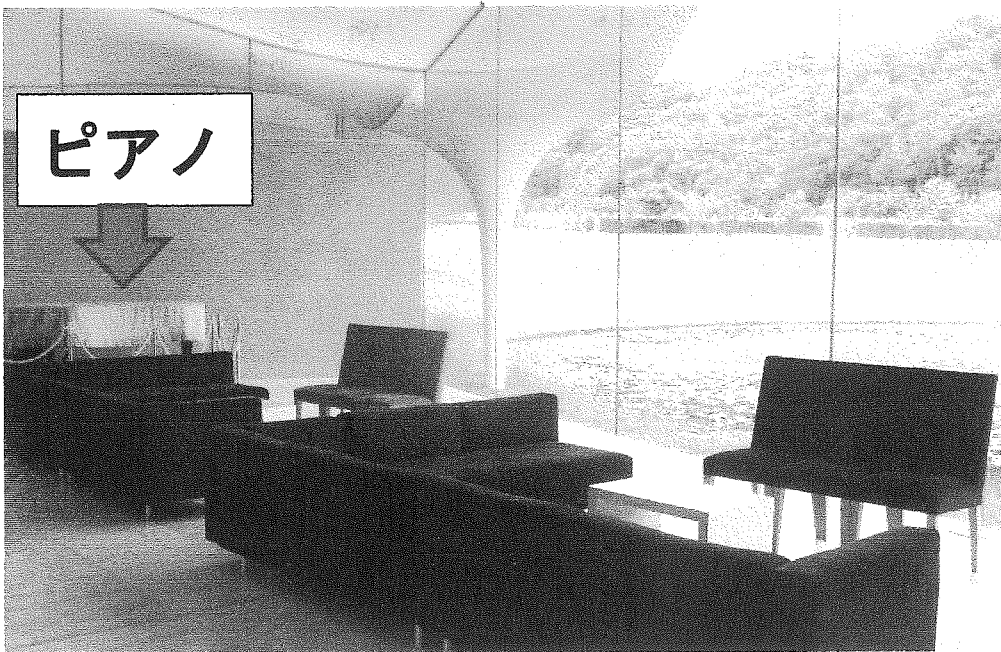
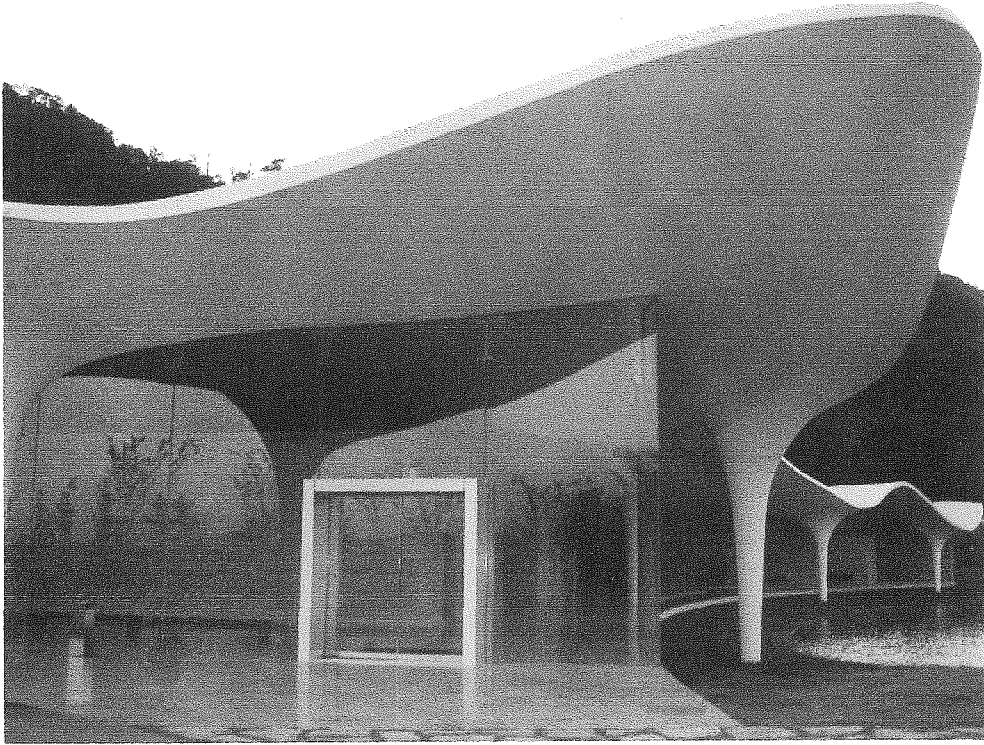
受付時間

開庁日の8時15分から17時00分の間

問合せ先

市社会福祉課 (Tel:0835-25-2349)

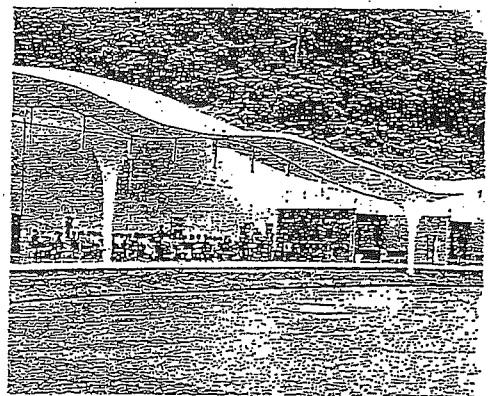
岐阜県 各務原市 齋場



21.5.16

音楽聴くなら火葬場へ

音楽の街を掲げる各務原市で、全国でも例がない火葬場を会場にしたコンサートが人気を集めている。周囲に森や池が配置されたロケーションと、世界的な建築家が設計した斬新なデザインの建物がその理由で、市は今年度から推進している「音楽の街づくり」の柱の一つとして活用する考えだ。



曲線を生かしたデザインの瞑想の森

「自然」「建物」で人気 各務原

コンサートが開かれているのは、同市那加扇平の市営斎場「瞑想の森」。「静けさと自然に帰る」を基本概念にした墓地公園の一角に2006年、約13億円をかけて整備された。約6700平方メートルの敷地にある2階建ての建物は、海外でも評価の高い建築家、伊東豊雄さんの設計で、08年度にBCS賞(建築業協会賞)を受賞した。

白を基調に曲線を生かしたデザインで、間接照明で照らし出された壁面は、従来の無機質な火葬場のイメージとはほど違い、斎場前のバスが浮かぶ円形の池から眺めると、美術館やレストランのよう

だ。今年度初のコンサートが開かれた17日は、市内外から約100人が来場。ロビーを会場に、チェコ出身で03年から同市に住んでいる元ヤナイチ・エク音楽大助教授、タニエル・フォルローさん(51)が、シンセサイザーでJ・S・バッハの「G線上のアリア」やパッヘルベルの「カノン」などを演奏した。

フォルローさんは「音響も良く、教会みたいで好きな会場です」とすっかりお気に入り。来場者を対象に行なったアンケートでは、65人のうち64人が「良かった」と回答し、「すてきな会場」「外の景色を眺めながら名曲を堪能できた」などの感想も寄せられた。

市は斎場が完成した06年、音楽関係者の薦めで東京都交響楽団の首席チェロ奏者、古川辰生さんを招いてコンサートを開催。それ以来、年1、2回、コンサートを挙げてきたが、今年度は8回に増やす。開催日は斎場が使われない「友引」の土・日曜日と祝日。市産業文化部の西田壽次長は「特別な日にしか訪れることがない場所だが、普段着で来てもらい、施設を身近に感じてほしい」と開催趣旨を説明している。

次回は6月20日午後1時半から、フォルローさんと声楽家の金光順子さんの共演による「ピアノとソプラノによる祈りのコンサート」が開かれる。入場無料。予約は市観光文化課(0568・33000・1042)へ。

大勢の人が訪れたコンサート



福岡県小郡市 火葬・斎場（河北苑）



斎場

野球場

小郡市と大刀洗町共有の施設として
平成5年4月開場

小松加賀環境衛生事務組合HPより抜粋

小松加賀環境衛生事務組合 小松市・加賀市のし尿処理・斎場「さざなみ」の運営・管理

小松加賀
環境衛生
事務組合

小松加賀環境衛生事務組合では、小松市・加賀市のし尿と浄化槽汚泥の処理、小松加賀斎場「さざなみ」の運営・管理を行っております。

TOP

小松加賀環境衛生事務組合HOME > 葬場ご案内

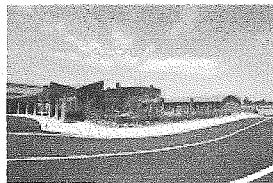
斎場ご案内

小松加賀斎場は周辺環境に配慮した最新の設備を備え、会葬された方々がやすらぎと憩いの場として心穏やかに過ごしいただける施設です。また、斎場としてのご利用はもとより、市民相互の交流を図り、自主的な活動を振興するためのコミュニティセンターとしてもご利用いただくことができます。

斎場の外観・内装



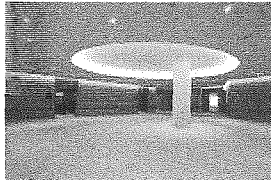
正面



外観



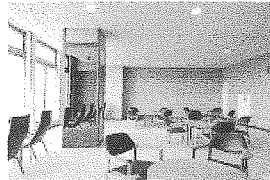
駐車場



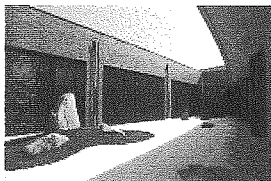
エントランスホール



待合ラウンジ



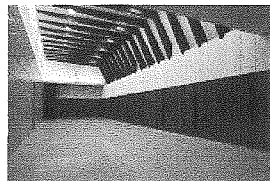
展望ロビー



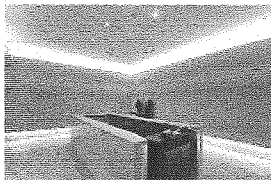
中庭



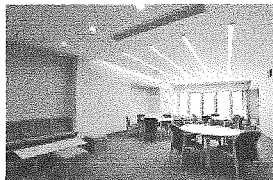
告别室



炉前ホール



取骨室



待合室(洋室)



待合室(和室)

[斎場の外観・内装](#)[斎場のご予約について](#)[斎場使用料](#)[実績](#)[斎場概要](#)[アクセスマップ](#)

コミュニティセンター

集会室※使用

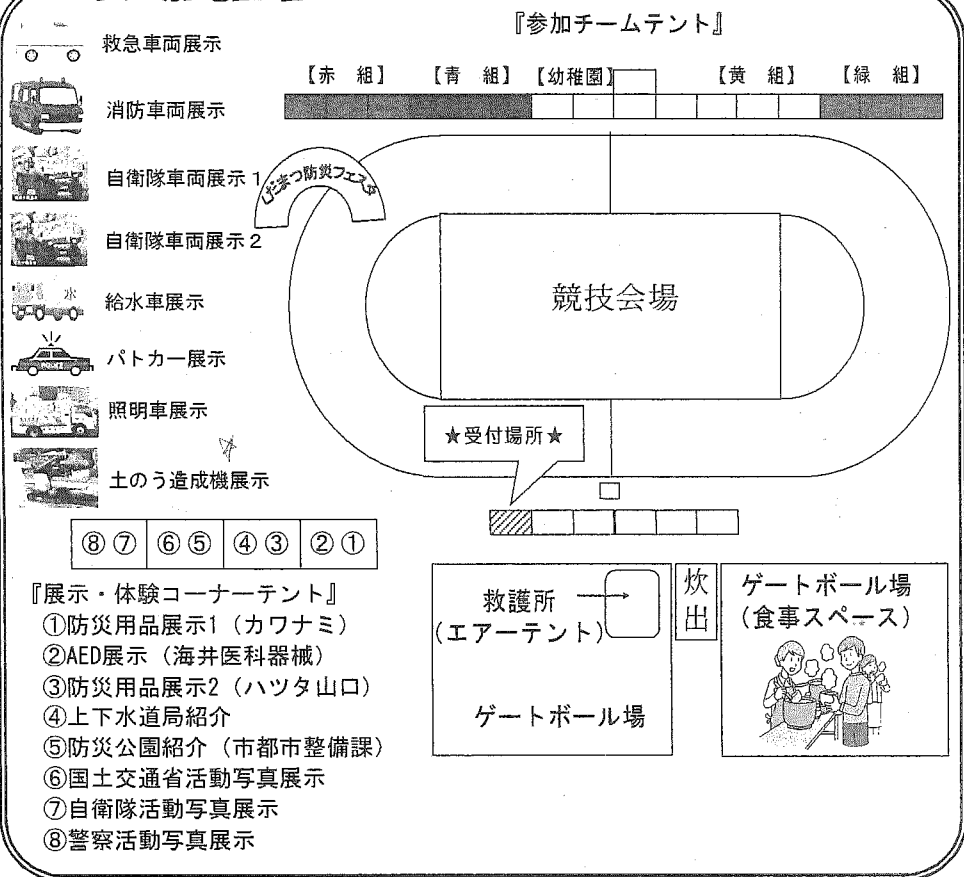
区域内 ¥200

区域外 ¥1,000

※使用できる施設

和洋室、つばめ、ひばり、うぐいす、さざんか、あじさい、なのはな、待合ラウンジ、展望ロビー

★会場配置図★



★観覧に来られた方が参加できる「防災クイズラリー」もありますので、お気軽にご参加ください！（参加記念品あり）
※9時30分～11時まで

炊出しによる昼食は、「防災運動会」に参加した選手のみとなります。観覧に来られた方にはございませんので、ご注意ください。

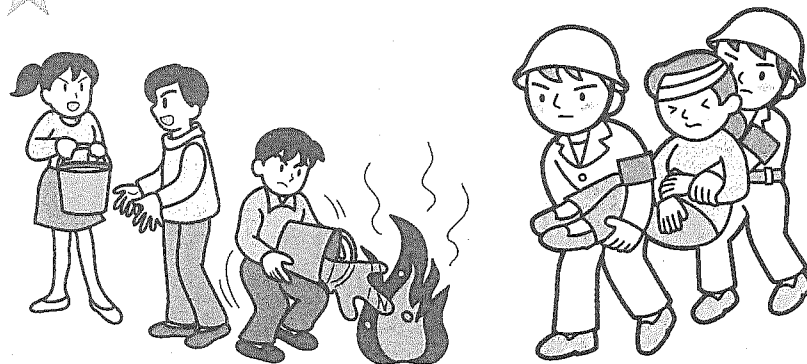
吉永美子議員

資料6

下松市制75周年記念 ★ くだまつ防災フェスタ2014

～防災運動会・防火のつどい～

★プログラム★



日 時:平成26年10月18日(土)8:30～

場 所:下松スポーツ公園総合グラウンド

主催:下松市、下松市消防本部

後援:国土交通省中国地方整備局山口河川国道事務所

協力:陸上自衛隊山口駐屯地、下松警察署

山口県消防防災航空センター、下松市連合婦人会
海井医科器械(株)、(株)カワナミ、(株)ハツタ山口

★くだまつ防災フェスタとは・・・★

市民、各種団体及び各防災機関の連携強化と、防災意識の向上を図るとともに、自主防災の輪を広げ安全安心のまちづくりを推進することを目的とする「防災運動会」と、火災予防の推進を目的とする「防火のつどい」の合同イベントで、防火・防災について幅広く理解を深めていただくことを目的として開催しています。

★タイムスケジュール★

時間	内容
8:10 ~ 8:25	参加者受付
8:30 ~ 8:50	開会式（市長挨拶、来賓紹介、国旗掲揚、選手宣誓など）
8:50 ~ 9:00	競技概要説明、準備体操
9:00 ~ 9:20	競技1 担架搬送競走（20分）
9:20 ~ 9:40	競技2 防災綱引き合戦（20分）
9:40 ~ 9:45	■各種展示・体験コーナーの紹介
9:45 ~ 10:00	防災へり来場・降下（15分）
10:00 ~ 11:00	防火のつどい（幼年防火クラブ員演技、防火標語の唱和等）（60分）
11:00 ~ 11:05	■炊出し訓練の説明、進捗状況報告
11:05 ~ 11:25	競技3 消火・救出リレー（20分）
11:25 ~ 11:45	競技4 水バケツリレー（20分）
11:45 ~ 12:00	成績発表、閉会式（市長講評、閉会のことば）
12:00 ~	昼食（自衛隊・連合婦人会炊出し訓練による米飯、豚汁）

★競技概要★

- （1）競技は、赤組、青組、黄組、緑組の対抗戦とします。各競技を行い、順位に応じて得た得点を合計し、総得点の多い組から総合順位を決定します。
- （2）競技ごとに、チームから数名又は全員に参加していただき、一人につき3～4の競技に参加してもらいます。

（3）競技種目別参加人数

- ① 担架搬送競走【7名】（搬送者6名、救護者役1名）
- ② 防災綱引き合戦【全員参加】
- ③ 消火・救出リレー【3名】（救出者2名、要援護者1名×1回）
- ④ 水バケツリレー【全員参加】
- ⑤ 防災クイズラリー【各チームに問題用紙を配布】

★チーム編成★

赤組		青組	
No	チーム名	No	チーム名
1	消防団 下松分団	7	消防団 米川分団
2	消防団 笠戸島分団	8	消防団 機動分団
3	消防団 女性分団	9	久保地区婦人会
4	東陽3丁目の夕日	10	東陽2丁目自治会
5	米川中央地区防災組織	11	久保市自主防災会
6	下松市役所松朋会	12	YPポリス
黄組		緑組	
No	チーム名	No	チーム名
13	消防団 花岡分団	19	消防団 久保分団
14	消防団 末武分団	20	消防団 豊井分団
15	江の浦地区自治会合同チーム	21	久保市自治会
16	旗岡チームB	22	旗岡チームA
17	日立笠戸	23	新笠戸ドック
18	中国電力(株)下松発電所	24	東万の木防災会

全国の主なプレミアム付き商品券

自治体	名称、プレミアム率(%)	特徴、効果など
札幌市	さっぽろプレミアム付商品券(10%)	2014年度補正予算の交付金活用。今年8月～16年1月で実施予定
さいたま市	プレミアム付き共通商品券(12%)	スーパーやチェーン店が地元商店街などと連携し地域一体で推進(10年)
東京・世田谷区	プレミアム付区内共通商品券(10%)	アンケートで「自宅周辺で利用」9割、「商店街での買い物が増える」6割(13年)
相模原市	第2回プレミアム付さがみはら商品券(10%)	プレミアム分の約2.7倍の新たな消費を喚起(09～10年)
新潟市	合併10周年記念プレミアム付き商品券(10%)	14年5月に発行総額11億円分が約2週間で完売
名古屋市	なごや商店街プレミアム商品券(10%)	2000年に「元気商品券」の名称でスタートし、好評を得て継続
大阪府	ぎょうさん買うたろう商品券(15%)	プレミアム分の約3.4倍の新たな消費を喚起(10年)
神戸市	こうべ買って得商品券(10%)	プレミアム分の約7倍の新たな消費を喚起(09年)
鳥取市	スーパープレミアム付き商品券(20%)	プレミアム分の約2.6倍の新たな消費を喚起(09年)
福岡県	商店街などへのプレミアム付き商品券発行支援	14年度は約7億円を投入し、発行総額120億円分の商品券発行を推進

2月10日現在、過去の事業を含む。公明新聞調べ